



12年10月22日号

特集

米アップルの新製品発表に注目

Page 3

新興市場概況と個別銘柄戦略

Page 2

ランキングデータベース

週間騰落率・時価総額・売買代金

Page 4

注目銘柄

メディアフラッグ(東証マザーズ 6067)

エムティーアイ(JASDAQ 9438)

Page 6

IPO Market Outlook

トレンドーズは想定通りの人気化に

Page 7

IPO's Market Poll & Calendar

新規上場企業のスケジュールと市場注目度

Page 9

新興市場概況と個別銘柄戦略

決算発表接近も手控え要因、反発基調は一服の公算

先週の新興市場は、為替の円安や海外株高など外部環境の一段の改善を背景とした日経平均の大幅上昇を受け、個人投資家の投資マインドも改善、しっかりとした動きになった。バイオベンチャー関連や直近IPO銘柄に対して循環的に値幅取りの動きが強まり、指数を牽引する状況ともなっている。指数については、日経平均が週間で5.5%上昇したのに対し、マザーズ指数は約4.6%、日経JASDAQ平均は約0.8%の上昇となった。

先週に続きバイオ関連株の動きが話題となる。タカラバイオ<4974>は一時2007年7月以来の株価4ケタ乗せを達成。DNAチップ<2397>、カイオム・バイオ<4583>、免疫生物<4570>、医学生物<4557>などの上昇が目立った。トレンドーズ<6069>の上場を控えて、エムアップ<3661>、エイチーム<3662>、エニグモ<3665>など直近IPO銘柄も週後半にかけて人気化へ。サイバーエージェント<4751>など主力株も堅調推移となったが、週末には米グーグルの株価急落が嫌気されて軟化する展開にも。個別では、音声認識技術「AmiVoice」を搭載したサービスの提供をKDDIが発表したことで、アドバンス・メディア<3773>が急伸。ジェイアイエヌ<3046>も法人需要開拓報道で上昇へ。一方、ウエストHD<1407>は今期の好業績見通し発表も出尽くし感で下落。

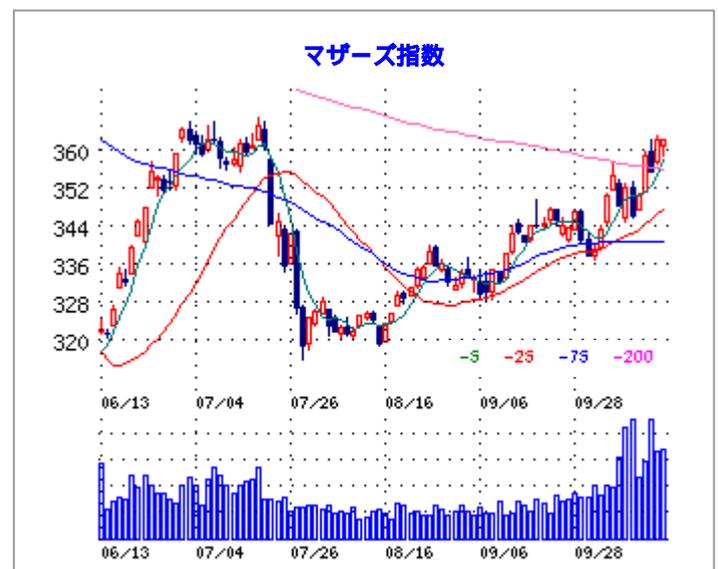
今週の新興市場は、先週末の米国株の大幅安をきっかけに、戻り売りが優勢の展開になると想定する。マザーズ指数に関しては、7月の急落前の水準までのリバウンドを果たし、一旦達成感が生じる水準とも考えられよう。また、米グーグルの株安は主力のネット関連株などに対する買い手控えにもつながっていく公算。米フェイスブックの決算次第では、一段と警戒感が強まる可能性も残ろう。足元では指数の牽引役ともなっていたバイオ関連株だが、先週も大幅に反落する銘柄が見受けられるなど、物色の一巡感が強まる恐れ。

一方、先週もマザーズ市場の売買代金は2日間で200億円を突破しており、売買ボリュームの盛り上がりが続いている。懸念されたソフトバンク

<9984>の急落に伴う換金売り圧力なども、それほど強まる状況にはならなかった。物色意欲の強さを背景に、好業績発表など一部の銘柄では値幅取りの動きが引き続き活発になると見られるほか、株価の調整場面では押し目買いの動きも強まりやすく、反発に転じるタイミングも早まると判断したい。

個別では、25日に決算発表予定のサイバーAG<4751>などに関心。直近ではCSが投資判断を格下げしているなど、警戒感が先行しやすいとみられる。営業利益の市場コンセンサスでは、前9月期実績が180億円強と会社計画を10億円超上回る水準、今9月期は200億円超のレベルとなっているが、CSでは今期横ばいを予想していた。ほか、今週は沖縄セルラー<9436>、ニューフレア<6256>、DNAチップ<2397>やカイノス<4556>などバイオ関連の一角が決算発表を予定している。また、東証ではハイテク株の決算発表が本格化、新興市場のハイテク銘柄には株価の連動性が強まりやすいだろう。

根強い追加緩和策などへの期待から不動産関連株などには引き続き注目度を高めたい。JCOM<4817>のM&A観測報道を受けて、通信関連セクターに再編期待が高まるかも注目。トレンドーズの上値追い継続なら、直近IPO銘柄人気も続く可能性。



米アップルの新製品発表に注目

電子書籍は久しぶりにテーマ物色も

米アップルが23日に特別イベントを開催し、小型タブレット「iPad mini」の発表が予想されている。9月の米小売売上高は電子機器が増加分の大半を占めるなど、新型スマートフォン「iPhone5」の好調な売れ行きを背景に、3ヶ月連続で拡大している。「iPad mini」はクリスマス商戦への起爆剤となる可能性もあり、市場の関心が高まる。そのため、タブレット・タッチパネルの関連部品や素材を手掛けている企業のほか、電子書籍サービスを展開している企業に注目。

25日線をプラス乖離している銘柄は同線のサポート期待、株価位置(年初来高値から安値に対する株価位置)については高値を狙える位置にある銘柄と、出遅れ感の強い銘柄の見直しを想定。電子書籍などは、このところはテーマ物色もみられておらず、新鮮味がありそうだ。

コード	銘柄	市場	業種	10/19 株価(円)	時価総額 (億円)	25日平均 (円)	乖離率 (%)	年初来高値 価格(円)	年初来安値 価格(円)	高値-安値 価格位置 (%)
4080	田中化学研究所	JASDAQ	化学	325	41	334	-2.69	630	305	6.15
3441	山王	JASDAQ	金属製品	334	17	370	-9.73	887	297	6.27
2330	SmartEbook.com	JASDAQ	情報・通信業	1,497	33	1,482	1.01	2,449	1,430	6.58
6907	ジオマテック	JASDAQ	電気機器	608	56	626	-2.88	1,032	570	8.23
3853	インフォテリア	マザーズ	情報・通信業	169	19	170	-0.59	305	147	13.92
7818	トランザクション	JASDAQ	その他製品	813	26	801	1.50	1,200	750	14.00
4335	アイ・ピー・エス	JASDAQ	情報・通信業	21,940	5	21,740	0.92	37,550	18,500	18.06
4755	楽天	JASDAQ	サービス業	766	10,114	769	-0.39	838	711	43.31
4813	ACCESS	マザーズ	情報・通信業	53,300	209	61,988	-14.02	76,600	27,600	52.45
4763	クリーク・アンド・リバー社	JASDAQ	サービス業	28,980	66	25,476	13.75	34,800	13,330	72.89
3658	イーブックイニシアティブジャパン	マザーズ	情報・通信業	2,975	63	2,368	25.63	3,230	1,578	84.56
3641	パピレス	JASDAQ	情報・通信業	2,849	37	2,230	27.76	3,030	1,540	87.85
3393	スターティア	マザーズ	卸売業	1,574	78	1,404	12.11	1,574	860	100.00

QUICK データを元にフィスコ作成

ランキングデータベース

週間騰落率ランキング 上位 30 銘柄

新興市場騰落率ランキング(値上り上位)				
コード	銘柄	市場	10/19 終値	10/12比 上昇率 (%)
1	2338 ファステップス	マザーズ	64,300	93.67
2	3773 アドバンス・メディア	マザーズ	56,900	90.62
3	2397 DNAチップ研究所	マザーズ	76,000	58.00
4	8922 ジアース	マザーズ	1,487	47.67
5	7162 アストマックス	JASDAQ	254	45.98
6	3246 コーセーアールイー	JASDAQ	290	36.79
7	8256 プロレート丸光	JASDAQ	106	35.90
8	8925 アルデプロ	マザーズ	110	34.15
9	4583 カイオム・バイオサイエンス	マザーズ	1,715	32.33
10	3848 データ・アプリケーション	JASDAQ	133,900	29.25
11	4558 中京医薬品	JASDAQ	311	28.51
12	3661 エムアップ	マザーズ	2,445	25.45
13	7265 エイケン工業	JASDAQ	382	24.43
14	3046 ジェイアイエヌ	JASDAQ	2,369	24.42
15	3089 テクノアルファ	JASDAQ	876	23.38
16	3858 ユビキタス	JASDAQ	63,200	22.72
17	5381 日本マイクロコーティング	JASDAQ	206	22.62
18	3765 ガンホー・オンライン	JASDAQ	380,500	20.79
19	8844 コスモスイニシア	JASDAQ	529	20.78
20	3826 システムインテグレータ	マザーズ	898	20.70
21	3776 ブロードバンドタワー	JASDAQ	43,800	19.84
22	6662 ユビテック	JASDAQ	31,500	18.33
23	8205 シャクリー・グローバル	JASDAQ	630	18.20
24	4570 免疫生物研究所	JASDAQ	5,450	16.83
25	4557 医学生物学研究所	JASDAQ	274	16.10
26	2461 ファンコミュニケーションズ	JASDAQ	160,100	16.10
27	3859 シナジーマーケティング	JASDAQ	532	15.40
28	2468 フュートレック	マザーズ	1,164	15.25
29	4556 カイノス	JASDAQ	288	15.20
30	3664 モブキャスト	マザーズ	2,160	15.14

(値下り上位)				
コード	銘柄	市場	10/19 終値	10/12比 下落率 (%)
1	3647 コネクトホールディングス	マザーズ	40	-29.82
2	3760 ケイブ	JASDAQ	64,700	-19.23
3	2667 イメージワン	JASDAQ	12,790	-18.54
4	6058 ベクトル	マザーズ	1,001	-15.17
5	3840 イー・キャッシュ	マザーズ	5,700	-14.29
6	9822 クロニクル	JASDAQ	13	-13.33
7	1407 ウエストHD	JASDAQ	1,143	-12.08
8	7928 旭化学工業	JASDAQ	395	-11.43
9	3174 ハビネス・アンド・ディ	JASDAQ	2,000	-11.11
10	6051 アイ・アールジャパン	JASDAQ	3,970	-10.48
11	3390 ユニバーサルソリューション	JASDAQ	2,215	-10.14
12	2796 ファーマライズHD	JASDAQ	47,600	-9.85
13	2182 メディサイエンスプランニング	JASDAQ	2,261	-9.63
14	3823 アクロディア	マザーズ	10,800	-9.62
15	4744 メッツ	マザーズ	1,537	-9.48
16	3372 関門海	マザーズ	10,290	-9.34
17	2370 メディネット	マザーズ	11,400	-9.24
18	2173 博展	JASDAQ	295	-9.23
19	3264 アスコット	JASDAQ	80	-9.09
20	7954 E M C O Mホールディングス	JASDAQ	41	-8.89
21	6824 新コスモス電機	JASDAQ	1,080	-8.47
22	9964 アイ・テック	JASDAQ	550	-8.33
23	8711 F Xプライム	JASDAQ	271	-8.14
24	7725 インターアクション	マザーズ	30,300	-7.62
25	9898 サハダイヤモンド	JASDAQ	13	-7.14
26	6264 マルマエ	マザーズ	21,000	-7.08
27	9776 札幌臨床検査センター	JASDAQ	614	-6.97
28	3832 T & Cホールディングス	JASDAQ	4,840	-6.92
29	3268 一建設	JASDAQ	2,486	-6.86
30	2191 テラ	JASDAQ	658	-6.80

先週もバイオ関連銘柄が物色の中心となった。DNA研究所<2397>が上昇率 3 位、カイオム・バイオサイエンス<4583>が同 10 位、免疫生物研究所<4570>が同 24 位、医学生物学研究所<4557>が同 25 位にランクイン。一方、メディアサイエンス<2182>が下落率 13 位、メディネット<2370>が同 17 位に入るなど短期資金の流出も目立った。また、週央まで買いが殺到したタカラバイオ<4974>は1000円台に到達後、利益確定の売りに押された。

その他、上昇率 2 位のアドバンス・メディア<3773>は、KDDI<9433>が同社の音声認識技術「AmiVoice」を搭載した、声でスマホを操作できるサービス「おはなしアシスタント」の提供を開始すると発表したことが材料視された。同 10 位のデータ・アプリ<3848>は、上期営業利益を 1.4 億円から 2.3 億円へ、通期計画を 3.4 億円から 4.6 億円へとそれぞれ上方修正したことが好感された。四季報予想では通期で 3.8 億円が見込まれており、想定以上

上昇率 12 位のエムアップ<3661>は、週末に上場したトレンダーズ<6069>が人気化したことで、直近 IPO 銘柄の一角として物色が向かった。同 14 位のジェイアイエヌ<3046>は、パソコン用眼鏡「JINS PC」で、PC を使う作業時間が長い IT 関連企業を中心に、法人需要を開拓すると報じられたことも加わり上場来高値更新の強い動きへ。なお、同 16 位のユビキタス<3858>、同 22 位のユビテック<6662>など省エネシステム関連の一角にも買いが向かった。

一方、下落率 2 位のケイブ<3760>は、第 1 四半期決算を発表し、営業損益は 1500 万円の赤字となったことが嫌気された。会社側では今期の会社計画を公表していないものの、足元の損益悪化がネガティブ材料視される格好に。また、同 12 位のファーマライズ HD<2796>も、第 1 四半期営業利益が前年同期比 22%減の 3.1 億円と、大幅減益での着地となったことが売り材料視された。

時価総額ランキング 上位 20 銘柄

新興市場時価総額ランキング						
順位	コード	銘柄	市場	10/19終値	時価総額 (億円)	10/12比 増減率(%)
1	4755	楽天	JASDAQ	766	10113.5	1.19
2	4817	ジュピターテレコム	JASDAQ	82,700	5745.8	2.99
3	2702	日本マクドナルドホールディングス	JASDAQ	2,210	2938.4	-0.05
4	6425	ユニバーサルエンターテインメント	JASDAQ	1,632	1308.8	2.06
5	7458	第一興商	JASDAQ	1,921	1187.6	3.17
6	4751	サイバーエージェント	マザーズ	149,600	976.1	4.62
7	8697	大阪証券取引所	JASDAQ	325,000	877.5	3.83
8	4974	タカラバイオ	マザーズ	750	846.9	12.78
9	6256	ニューフレアテクノロジー	JASDAQ	691,000	829.2	5.82
10	2712	スターバックス コーヒー ジャパン	JASDAQ	55,000	791.1	-0.54
11	3268	一建設	JASDAQ	2,486	710.1	-6.86
12	3046	ジェイアイエヌ	JASDAQ	2,369	568.1	24.42
13	7716	ナカニシ	JASDAQ	8,670	544.8	0.00
14	2400	メッセージ	JASDAQ	271,300	544.8	-2.90
15	2782	セリア	JASDAQ	1,428	541.5	-0.14
16	4628	エスケー化研	JASDAQ	3,330	521.9	1.52
17	6324	ハーモニック・ドライブ・システムズ	JASDAQ	1,603	506.3	5.18
18	6960	フクダ電子	JASDAQ	2,448	479.5	1.45
19	9436	沖縄セルラー電話	JASDAQ	1,670	456.6	-0.30
20	3765	ガンホー・オンライン・エンターテイメント	JASDAQ	380,500	437.4	20.79

売買代金ランキング 上位 30 銘柄

新興市場売買代金上位ランキング					
順位	コード	銘柄	市場	10/19終値	10/15~10/19 売買代金合計(円)
1	4974	タカラバイオ	マザーズ	750	24,849,386,100
2	3386	コスモ・バイオ	JASDAQ	134,300	10,774,554,200
3	3046	ジェイアイエヌ	JASDAQ	2,369	7,602,632,000
4	4751	サイバーエージェント	マザーズ	149,600	7,364,831,600
5	3661	エムアップ	マザーズ	2,445	6,515,583,400
6	4755	楽天	JASDAQ	766	5,690,084,200
7	3662	エイチーム	マザーズ	3,300	5,481,244,600
8	3765	ガンホー・オンライン・エンターテイメント	JASDAQ	380,500	4,548,158,500
9	7777	スリー・ディー・マトリックス	JASDAQ	3,545	4,369,131,500
10	7774	ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング	JASDAQ	75,500	4,309,164,100
11	2191	テラ	JASDAQ	658	3,987,401,500
12	3658	イーブックイニシアティブジャパン	マザーズ	2,975	3,693,244,300
13	3664	モブキャスト	マザーズ	2,160	3,340,916,600
14	1407	ウエストホールディングス	JASDAQ	1,143	3,041,328,400
15	4817	ジュピターテレコム	JASDAQ	82,700	2,772,125,400
16	9419	ワイヤレスゲート	マザーズ	3,450	2,374,706,500
17	3649	ビーエスシー	JASDAQ	4,125	2,301,447,500
18	4557	医学生物学研究所	JASDAQ	274	2,188,905,000
19	3665	エニグモ	マザーズ	5,930	2,094,814,000
20	2468	フットレック	マザーズ	1,164	2,006,383,500
21	7162	アストマックス	JASDAQ	254	1,990,169,100
22	6256	ニューフレアテクノロジー	JASDAQ	691,000	1,914,542,000
23	4583	カイオム・バイオサイエンス	マザーズ	1,715	1,829,760,000
24	4570	免疫生物研究所	JASDAQ	5,450	1,797,614,300
25	2338	ファステップス	マザーズ	64,300	1,674,685,800
26	3773	アドバンスト・メディア	マザーズ	56,900	1,595,232,800
27	2370	メディネット	マザーズ	11,400	1,461,865,280
28	9204	スカイマーク	マザーズ	403	1,453,235,900
29	4819	デジタルガレージ	JASDAQ	151,500	1,341,764,100
30	2397	DNAチップ研究所	マザーズ	76,000	1,265,928,200

今週の注目銘柄

トレンドーズの人気化が刺激材料に

9月上場の直近IPO銘柄の一角として

先週末に東証マザーズに上場したトレンドーズ<6069>の人気化が、直近IPO銘柄(9月28日上場)である同社への刺激材料となりそうだ。同社は、店舗・店頭マーケティングに特化した覆面調査事業のほか、営業アウトソーシング事業などを展開している。メディアアクルと言われる覆面調査員の増員、質の維持向上を推進しており、今後、全国各地でのサービス提供が可能となる見通し。また、飲食事業に留まらず、消費財メーカーや金融機関などからも調査依頼がきており、幅広い事業体がターゲットに。

17日の下ヒゲでボトムを打った可能性

株価は17日に1625円を付けた後はリバウンド基調を強めている。上場して間もないことから、テクニカル分析は難しいが、1日の上ヒゲ同様、17日に下ヒゲを残したことで短期的なボトムを打ったとも判断できよう。高値2415円から安値1625円の下落幅(790円)の61.8%戻しレベルである2110円をターゲットに設定する。

リスク

短期資金の流出入による乱高下。

メディアフラッグ

(東証マザーズ 6067)

業種：サービス

売買単位100株

10/19終値:1,895円

目標株価:2,110円



単独	売上高	前期比(%)	営業利益	経常利益	前期比(%)	当期利益	1株益(円)
07.12	691	-	-42	-45	-	-47	-
08.12	1,298	87.8	7	5	-	4	3.04
09.12	1,672	28.8	81	81	1520.0	62	47.01
10.12	1,861	11.3	106	106	30.9	57	43.41
11.12	2,279	22.5	111	112	5.7	51	38.64
12.12予	2,795	22.6	181	182	62.5	100	74.90

有料会員数は純増に転じ、業績改善期待が高まる

前期業績を下方修正しアク抜け感

音楽配信サイト「music.jp」、健康・美容情報サイト「ルナルナ」などのモバイルサイトを運営する。足元ではスマホの普及を背景に、フィーチャーフォン向け有料会員数の減少が続き、18日には前期営業利益を18億円から17億円へと下方修正した。ただし、業績の下振れ懸念を背景に株価は調整が続いていたためアク抜け感が先行し、週末は約7%の大幅高となった。また、9月末のスマホ向け有料会員数は313万人(6月末比84万人増)と順調に増加しているほか、全体の有料会員数もスマホ向けの大幅な伸長を追い風に813万人(同9万人増)と四半期ベースで純増に転じた点も注目されよう。

底入れ感が強まり売られ過ぎ修正へ

会社側では今期売上高を前期比2%増の300億円、営業利益を同0.4%増の17.1億円と見込んでいるが、スマホ向け有料会員数の増加を考慮すると保守的な印象がある。そのため、目先は悪材料出尽くし感と今期の業績改善期待を支援材料に、見直しの動きが強まる展開が期待される。26週線が位置する90000円水準へのリバウンドを予想する。

リスク

スマホ向け有料会員数の伸び悩み。

エムティーアイ

(JASDAQ 9438)

業種：情報通信

売買単位1株

10/19終値:78,000円

目標株価:90,000円



連結	売上高	前期比(%)	営業利益	経常利益	前期比(%)	当期利益	1株益(円)
07.09	18,520	6.2	1,123	1,029	22.7	1,053	14,490.62
08.09	21,615	16.7	1,726	1,675	62.8	563	4,086.52
09.09	25,732	19.1	2,213	2,177	30.0	1,669	12,446.91
10.09	30,836	19.8	3,131	3,132	43.9	1,824	13,630.48
11.09	32,342	4.9	3,702	3,692	17.9	1,797	13,447.41
12.09予	29,382	-9.2	1,704	1,697	-54.0	138	1,071.02

IPO Market Outlook

トレンドーズは想定通りの人気化に

先週は19日に、トレンドーズ<6069>が東証マザーズ市場に新規上場し、上場初日は初値が付かなかった。人気の高まりやすいネット関連のIPO、マザーズへの上場、公開規模が小粒、と初値が大きく飛びやすい条件が揃った案件として想定通りの人気化となった。上場初日に買い気配のまま寄り付かなかったのは、4月に上場したエイチチーム<3622>、6月に上場したモブキャスト<3664>に続き、今年3社目となる。

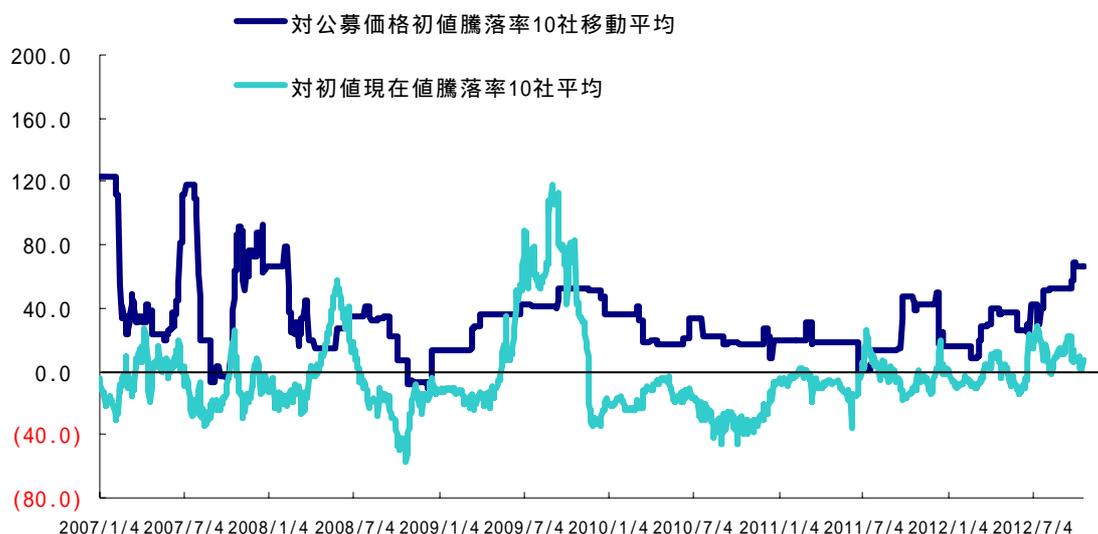
先週末大引け時点での気配値は、東証が設定した上限である5870円となった。同水準で買い注文が約42万株、売り注文が約12万株、差し引きで約30万株の買い越しとなった。差し引きで多くの買い注文を残したが、週明けは規制措置として買い付け代金(現金)の即日徴収

が行われるため、買い注文は減少する見通し。上場2日目は売り気配からスタートする銘柄も多いが、今年はエイチチーム、モブキャストともに買い気配からのスタートとなっていた。足元におけるIPO人気を考慮し、同様のパターンが想定される。その場合、今年最高の初値上昇率となったモブキャストの約188%を当てはめた7350円水準が意識される可能性もある。

なお、今週は23日に三洋貿易<3176>、阿波製紙<3896>がそれぞれ東証2部市場に上場する。トレンドーズの人気化の流れを受けて穏やかなスタートが予想されるが、事業内容に目新しさが乏しいほか、東証2部案件の不人気傾向を考慮すると、公開価格に対して初値が大きく飛ぶ可能性は低そうだ。

上場日	コード	銘柄名	公開価格(円)	初値(円)	10/19(円)	対公募価格初値騰落率(%)	対初値現在値騰落率(%)
10/19	6069	トレンドーズ	2550	-	-	-	-

対公募価格初値騰落率10社平均線と
対初値現在値騰落率10社平均線(2007年～、単位:%)



今週の IPO 予定銘柄

「三洋貿易<3176>」

(10/23・JASDAQ・100 株単位)

ゴム類や化学品類、自動車部品、機械器具、精密測定機器など各種商品の輸出入、国内販売を展開する。事業内容に目新しさが乏しく、“東証 2 部上場らしい”地味な IPO 案件であることから、公開価格を意識した初値形成となりそうだ。

直近における東証 2 部案件の初値形成は、苦戦が続いている。昨年では、スターフライヤー<9206>の初値が公開価格に対して 73% 上昇した以外は、新田ゼラチン<4977>、ジャパンマテリアル<6055>、クロタニコーポ<3168>が、いずれも公開価格割れのスタートを余儀なくされた。スターフライヤーは年末案件で初値が上昇しやすいアノマリー時期の上場であったことを考慮すると、やや苦戦のスタートも想定しておきたい。

バリュエーション面については、公開価格の 460 円、予想 EPS (1 株当たり利益) の約 92 円を基にした今期予想 PER は約 5 倍に留まり、割高感は乏しい印象。また、今期配当は 30 円、予想配当利回りが約 6.5% である点も前向きに捉えられよう。

なお、公開規模は 15 億円前後となる見込み。東証 2 部案件としてはそこまで大きくないものの、同日には阿波製紙<3896>も東証 2 部に上場するため、初値買い資金が分散してしまう可能性がある点に留意したい。公開価格プラスマイナス 10% 前後のレンジでの穏便な初値形成になるとみられ、初値メドは 430 円～500 円となりそうだ。

「阿波製紙<3896>」

(10/23・JASDAQ・100 株単位)

特殊紙や機能材料の製造、販売を展開する。三洋貿易と同様に事業内容に目新しさが乏しく、やや地味な IPO 案件であるため、公開価格水準を意識した初値形成となりそうだ。東証 2 部への直接上場ではあるものの、地方銘柄であるため人気が高まりづらい面もあるだろう。

市場参加者に東証 2 部案件を避ける動きが見られ、初値買い人気は盛り上がりにくい要因となっている点が懸念材料となる。先週はトレンダーズ<6069>が初日に初値が付かないほどの人気化となったほか、直近 IPO 銘柄が軒並み上昇するなど、IPO 市場の地合いは良好であるものの、東証 2 部案件に初値買い資金が集中することは見込みづらい。

一方、13 年 3 月期経常利益は前期比約 2.6 倍の 7.6 億円と大幅増益が見込まれており、前向きに捉えられそう。前期は一時的に業績が落ち込んだ反動もあるとみられるが、今期の増益率の高さは安心感につながる。また、公開価格の 370 円、今期予想 EPS の約 42 円を基にした今期予想 PER は約 8 倍であり、上場後は割安感が意識される可能性もありそうだ。

なお、公開規模は約 11 億円となる見込みで、東証 2 部案件としては小さい。同日に三洋貿易も上場するため初値買い資金は分散するとみられるが、個別では荷もたれ感が意識される程の規模ではないだろう。公開価格前後を意識した初値形成が予想され、初値メドは 370 円～420 円となりそうだ。

IPO's Market Poll & Calendar

10月のIPO予定表

10月

22日(月)	23日(火)	24日(水)	25日(木)	26日(金)
	三洋貿易 阿波製紙			

11月

12日(月)	13日(火)	14(水)	15日(木)	16日(金)
ありがとうサービス				キャリアリンク
19日(月)	21日(火)	22(水)	23日(木)	24日(金)
	エストラスト			

新規上場企業のスケジュールと市場注目度

銘柄コード	銘柄名	上場日	-	公募株数	-	売出株数	-	主幹事	-
市場注目度	予想レンジ	市場	-	仮条件	-	BB期間	-	公募価格	-
業務内容									
3176	三洋貿易	上場日	10/23	公募株数	2,600,000	売出株数	689,000	主幹事	MUMSS
	380 ~ 600	市場	東2	仮条件	420 ~ 460	BB期間	03 ~ 10	公開価格	460
ゴム類、化学品類、自動車部品、機械器具、精密測定機器および分析機器、その他各種商品の輸出入および国内販売									
3896	阿波製紙	上場日	10/23	公募株数	1,900,000	売出株数	975,000	主幹事	大和
	300 ~ 550	市場	東2	仮条件	330 ~ 370	BB期間	04 ~ 11	公開価格	370
特殊紙及び機能材料の製造及び販売									
3177	ありがとうサービス	上場日	11/12	公募株数	70,000	売出株数	250,000	主幹事	野村
	1000 ~ 1900	市場	JQ S	仮条件	10/22	BB期間	24 ~ 30	公開価格	1/0
「HARD OFF」及び「BOOK OFF」のFC店舗の運営を行うリユース事業並びに「モスバーガー」等のFC店舗の運営等を行うフードサービス事業									
6070	キャリアリンク	上場日	11/15	公募株数	600,000	売出株数	780,000	主幹事	野村
未定	~	市場	東M	仮条件	10/26	BB期間	30 ~ 05	公開価格	11/6
BPO、CRM分野における人材派遣を中心とした人材サービス事業									
3280	エストラスト	上場日	11/21	公募株数	250,000	売出株数	83,800	主幹事	SBI
未定	~	市場	東M	仮条件	10/31	BB期間	02 ~ 08	公開価格	11/9
不動産分譲事業(用地仕入、企画、分譲)、不動産管理事業(管理受託、収益不動産の賃貸)									

予想レンジ期間: 上場後1年を想定



発行所 株式会社フィスコ
発行人 狩野 仁志
編集人 村瀬 智一 フィスコ株式チーム

お問い合わせ

〒107-0062 東京都港区南青山 5-4-30 CNAC2F

電話:03-5774-2465 (お客様コール)

FAX:03-5774-2441

EMAIL:webmaster@fisco.co.jp

詳しいご案内やサンプルはフィスコホームページをご覧ください。

<http://fisco.jp/corp/report.html>

マーケット展望

IPOナビ

NY発 ウォール街通信

フィスコ外国為替情報

フィスコモバイル 株式&為替情報





12年10月22日号



〈重要事項 株式会社フィスコ〉

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪証券取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“ JASDAQ INDEX ”の指数値および商標は、株式会社大阪証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容および情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大することを保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。